

横小だより

新潟市立
横越小学校発行
R 4・7・20
臨時号



Eメール e407yokogoshi@city-niigata.ed.jp

URL <http://www.e407yokogoshi.city-niigata.ed.jp/>

《シリーズ》

第10回



Yokogoshi

校長

戸田道治

今回御紹介するのは、旧横越小に昭和20年3月から第12代校長としてお勤めされた小田益蔵校長先生です。

前回、第9代村手校長先生を御紹介しました。その後、赴任される校長先生は、皆、名誉と共に身が引き締まる思いをもっておられたようです。

この小田校長先生も、「名校長村手範先生の築かれた模範学校として、県下に鳴り響いていた」と百周年記念誌に書かれています。

そんな小田校長先生ですが、わずか1年にも満たず転勤を強いられます。それは、小田先生の赴任のタイミングによる不運でした。



第12代 小田 益蔵 校長先生

77年前の今日、日本本土は敵国の空襲を受けていました。昭和20年7月20日、横越上空に飛来したB29を日本軍は撃墜します。人々は喜び、その残骸を一目見ようと阿賀野川に船を出したのですが、あまりに人が乗り過ぎたために船は転覆し、死者まで出たとか。

横越村の4校には、敵国爆撃機撃墜を記念し、この爆撃機の機関砲が贈られるほどの過熱ぶり。

しかし、間もなく終戦を迎え、日本はGHQの管理下となります。学校に隠されていた機関砲はすぐに見つかり、小田校長先生はその責任を取らされ、北魚沼郡まで転勤を命じられました。

小田校長先生はその思いについて「今でも痛恨止み難く、折にふれて、涙が溢れることがあります」と、26年後に綴っています。

教育村・横越に赴任して志を果たせなかった無念をずっと引きずっていたことが伝わります。



焼山へ落ちたB29 「横越町史」より



B29の残骸 昭和20年7月21日の新潟日報